物づくりは心づくり

マンションの杭打ち工事のデータ流用。建築用免震ゴムのデータ改ざん。車の排気ガスデータの改ざん隠ぺい。農業用肥料の成分偽装。これらは、今年メディアをにぎわせたニュースだ。いずれも大企業の物づくりにかかわる不正行為だ。あまりにも多い。物づくり業界に何が起きているのだろうか。

我々の祖先がアフリカ大陸で誕生した頃、人間には他の動物と比べて飛び抜けた能力があったわけではない。日々、外敵からの危険にさらされていた。だが、持ち前の知恵で弓矢を発明した。さらに矢じりの材料を工夫し、鋭く・硬く・割りやすい黒曜石を用いて弓矢の威力を高めた。このノウハウを共有しながら、作り手が使い手に思いを馳せて製作することによって安心で安全な暮らしを手に入れた。人間が地球上で大繁栄する礎となった。

１５万年前の人間に物づくりの原点を見た。作り手が使い手の思いや願いを踏まえて幸せで豊かな生活を具現化する。これが物づくりの原点だ。冒頭の大企業による不正行為は、物づくりの原点を見失ったり物づくりの心を置き去りにしたりした結果だ。

物をつくるとは、本来、作り手が自らの心をつくることなのかもしれない。